

第3 行動計画の進行管理と役割分担

1 進行管理

医療や保健の各種統計情報の活用や、関係機関・団体等から報告を求めるなど、圏域での取組や健康状態の把握に努め、行動計画の進捗状況について進行管理を行います。

2 役割分担

(1) 保健所

保健所は地域の健康課題に対応し、北海道健康増進計画を踏まえた行動計画を作成し、市町健康増進計画の策定及び推進支援を行うほか、地域の健康や生活習慣の状況の把握に努めるとともに、地域の実情に応じた推進体制の構築を図ります。

(2) 市町

市町は、健康増進事業や保健事業等について、市町健康増進計画において位置付け、定期的に評価を行い、地域住民の主体的な健康づくりへの参加を促します。

また、保健事業の効率的な実施を図る観点から、医療保険者として実施する保健事業と事業実施者として行う健康増進事業との連携を図るとともに、市町が策定する介護保険事業計画及び食育計画及びその他の市町健康増進計画と関連する計画との調和に配慮します。

(3) 関係団体・医療保険者等

医師会や歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、北海道健康づくり財団などの関係団体は、その専門性を生かし、健康づくりに関する情報提供や相談への対応のほか、地域の健康づくりの取組を積極的に支援します。

医療保険者は、特定健康診査及び特定保健指導の実施促進を図るほか、データヘルス計画に基づき健診や医療費データの分析を踏まえ、生活習慣病などの疾病予防や重症化予防を中心とした保健事業を効果的・効率的に実施します。

(4) 企業等

職場（企業等）は、労働者の健康管理という観点から、定期的な健康診断の実施や受動喫煙防止等健康的な職場環境の整備、従業員の福利厚生の実施などに努めます。

企業は、企業活動や社会貢献活動を通じて、地域における健康づくりに積極的に参画します。

3 道計画の具体的目標に応じた圏域における主な取組と役割分担

(1) 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、喫煙、飲酒及び歯・口腔の健康に関する生活習慣の改善

ア 栄養・食生活

目標												
○ 適正な栄養摂取を進め、肥満や若年女性のやせを減らします。												
○ 道民が栄養バランスのとれた食生活を実践できるよう食環境の整備を推進します。												
指標	計画策定値	現状値	目標値									
適正体重を維持している者（肥満：BMI25以上、やせ：BMI18.5未満）												
ア 20～60歳代男性の肥満者の割合	42.3%	40.9%	28.0%以下									
イ 40～60歳代女性の肥満者の割合	29.9%	25.3%	24.0%以下									
ウ 20歳代女性のやせの者の割合	33.3%	32.0%	20.0%以下									
適切な量と質の食事をとる者（20歳以上）												
ア 食塩摂取量	10.8g	10.0g	8g以下									
イ 野菜の摂取量	288g	272g	350g以上									
ウ 果物摂取量100g未満の者の割合	56.6%	61.0%	30.0%以下									
エ 脂肪エネルギー比率が25%以上の者の割合	男性41.9% 女性51.3%	男性46.4% 女性55.7%	男性19.7%以下 女性31.1%以下									
朝食をとらない者の割合（全年代）	男性11.2% 女性7.6%	男性11.6% 女性7.6%	男性4.0%以下 女性2.4%以下									
食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業及び飲食店の登録数	3,724件	3,859件	増加									
利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合	76.9%	83.7%	85.0%以上 （目標値を更新）									
主 な 取 組						◎主体、○連携、協働						
						保健所	市町	教育	医療	職域	団体	住民
1 母子健康手帳交付時や乳幼児検診、特定健康診査及び特定保健指導等を通しての適正な栄養摂取に関する保健指導、情報提供の実施と実践						○	◎		○	○		◎
2 適正な食生活を推進するため、「北海道版食事バランスガイド」等を用いての地域住民の意識向上の促進及び各年代毎に朝食の必要性などを理解してもらうための食育の推進						◎	◎	◎	○	○	◎	
3 保健指導従事者に対する、適正な栄養摂取に関する保健指導への支援や研修会の実施						◎	○		○	○	○	
4 地域における食生活改善を推進するため、食生活改善推進員及び在宅栄養士等に対する研修（人材育成）、活用促進、活動支援の実施						◎	◎				○	
5 「栄養成分表示の店（ヘルシーレストラン）」の登録推進による食の自己管理意識向上の促進と、健康に配慮したメニュー（減塩メニュー、野菜たっぷりメニュー等）を提供する外食料理店の増加促進						◎	○			○	○	
6 適切な栄養管理を実施している特定給食施設等を増やすため、給食施設指導における助言、指導及び栄養士・調理師を対象とした研修会の実施						◎	○	○	○			
7 「北海道版食事バランスガイド」等を用いての自己の適正な食生活（朝食の必要性を含め）の理解と、栄養成分表示を参考とした食の自己管理の実践												◎
8 栄養成分表示活用に向けた普及啓発						◎	○	○	○	○	○	○

イ 身体活動・運動

目標												
○ 日常生活における身体活動量の確保や運動習慣の定着化を目指します。												
○ 道民が身近なところで運動できる環境整備とその活用促進を図ります。												
指標	計画策定値	現状値	目標値									
運動習慣者の割合（週2回以上30分以上の持続運動で1年以上継続している者）												
ア 20～64歳	男性 30.7% 女性 29.7%	男性 23.4% 女性 19.2%	男性 40.7%以上 女性 39.7%以上									
イ 65歳以上	男性 49.2% 女性 42.2%	男性 46.3% 女性 41.9%	男性 59.2%以上 女性 52.2%以上									
日常生活における歩数												
ア 20～64歳	男性 7,539歩 女性 6,743歩	男性 7,713歩 女性 6,588歩	男性 9,000歩以上 女性 8,500歩以上									
イ（再掲）65歳以上	男性 5,968歩 女性 4,799歩	男性 5,395歩 女性 4,915歩	男性 7,000歩以上 女性 6,000歩以上									
すこやかロード登録コース数	76（実68）市町村 131コース	90市町村 181コース	増加									
主 な 取 組						◎主体、○連携、協働						
						保健所	市町	教育	医療	職域	団体	住民
1 「健康づくりのための身体活動指針（2013）」に基づき、消費エネルギー等の運動の効果や運動ができる体育館等の運動施設等の情報提供						◎	◎	○			○	
2 特定保健指導等における生活活動（日常動作や労働による身体活動）の工夫による身体活動量の増加に関する情報提供と実践						○	◎		○	◎		◎
3 運動に関する各種事業の実施と参加						◎	◎	◎		◎	◎	◎
4 ノルディックウォーキング等、運動事業への支援						◎	○	○		○	○	
5 運動のしやすい環境整備と「すこやかロード」の認定登録への支援						○	◎	◎				

ウ 休養

目標												
○ 睡眠による休養を十分取れない人を減らします。												
指標	計画策定時	現状値	目標値									
睡眠による休養を十分にとれていない者の割合（20歳以上）	17.8%	20.0%	15.0%以下									
主 な 取 組						◎主体、○連携、協働						
						保健所	市町	教育	医療	職域	団体	住民
1 「健康づくりのための睡眠指針」により、地域・職域等と連携して睡眠・休養に関する正しい知識の普及啓発						◎	◎	○	○	○	○	○

エ 喫煙

目標												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 喫煙が及ぼす健康への影響について普及啓発を図ります。 ○ 未成年者の喫煙をなくします。 ○ 妊産婦の喫煙をなくすとともに、女性の喫煙率を低下させます。 ○ たばこをやめたい人に対するサポート体制を充実します。 ○ 官公庁施設、飲食店その他の多くの人が利用する施設において、受動喫煙によるリスクを減らします。 												
指標	計画策定時	現状値		目標値								
(再掲) 成人の喫煙率	24.8%	24.7%	男性 34.6%	女性 16.1%	12.0%以下							
喫煙経験のある未成年者の割合												
ア 中学1年生	男子 0.9%	男子 0.5%	0%									
	女子 0.6%	女子 0.2%										
イ 高校3年生	男子 2.9%	男子 0.8%	0%									
	女子 1.7%	女子 0.5%										
(再掲) 妊婦の喫煙率	10.1%	6.3%	0%									
(再掲) 産婦の喫煙率	13.2%	8.4%	0%									
日常生活で受動喫煙の機会を有する者の割合	公共施設 15.5% 家庭 13.2% 職場 36.7% 飲食店 44.3%	公共施設 8.9% 家庭 18.4% 職場 25.2% 飲食店 41.7%	行政機関 0% 医療機関 0% 家庭 3.0%以下 職場 受動喫煙のない職場の実現(H32) 飲食店 15.0%以下									
おいしい空気の施設登録数	3,067 施設	4,935 施設	増加									
主 な 取 組						◎主体、○連携、協働						
						保健所	市町	教育	医療	職域	団体	住民
1 禁煙週間での普及啓発の実施（公共施設におけるパネル展示、関連リーフレットの配布、がん検診や特定保健指導における情報提供等）						◎	◎					
2 禁煙治療を行う管内の医療機関の情報の整理と、必要に応じた情報提供						◎			○			
3 「おいしい空気の施設推進事業」による、受動喫煙防止対策の推進と対策への協力						◎	○	○	○	○	○	○
4 特定健康診査、特定保健指導などの各種相談機会を活用しての、がん予防や禁煙指導、禁煙相談の実施						◎	◎		○	○		
5 未成年者の喫煙防止に向けた学校単位での喫煙防止教育の実施と、学校独自で喫煙防止教育を実施する体制を確立するための必要な支援の実施						◎	○	◎			○	
6 女性、特に妊産婦に対する、母子健康手帳の交付時や乳幼児健診時における喫煙の現状把握や禁煙相談、喫煙による健康被害に関する普及啓発の実施と、父親向けの禁煙勧奨の実施						○	◎		○		○	
7 店頭における購入者の年齢確認の徹底等、未成年者のたばこ購入防止のための取り組みと協力						○	○	○			◎	○
8 COPDを含め、たばこの害についての認知と、家庭・職場・公共の場等における受動喫煙防止のための行動実践												◎

オ 飲酒

目標							
○ 生活習慣病のリスクを高める飲酒などが及ぼす健康への影響について意識を高めます。							
○ 未成年者や妊婦の飲酒を無くします。							
指標	計画策定時	現状値		目標値			
生活習慣病のリスクを高める量（1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上）を飲酒している者の割合（20歳以上）	男性 20.8% 女性 9.6%	男 18.2% 女 12.0%	男性 17.7%以下 女性 8.2%以下				
飲酒経験のある未成年者の割合（過去1か月）							
ア 中学3年生	男子 5.3% 女子 5.0%	男子 1.3% 女子 1.2%	0%				
イ 高校3年生	男子 13.4% 女子 10.6%	男子 5.1% 女子 5.9%	0%				
（再掲）妊婦の飲酒率	4.7%	1.4%	0%				
主 な 取 組		◎主体、○連携、協働					
		保健所	市町	教育	医療	職域	団体住民
1 女性、特に妊産婦に対する母子健康手帳の交付時や乳幼児健診時における飲酒の現状把握や飲酒による健康被害に関する普及啓発		○	◎		○		
2 未成年者や大学生など若い世代を対象としたアルコールに関する健康教育		○	○	◎			
3 飲酒による健康障害に関する普及啓発		◎	◎		○		
4 特定健康診査、特定保健指導などの各種相談の機会を活用しての適正飲酒に関する指導、相談の実施		◎	◎		○	○	
5 店頭における購入者の年齢確認の徹底等、未成年者のアルコール飲料購入防止のための取り組みと協力		○	○	○			◎ ○
6 多量飲酒が体に及ぼす害の認知と、適正飲酒行動の実践							◎

カ 歯・口腔

目標							
○ すべての道民が、自ら歯・口腔の健康の維持増進に努めるとともに、住み慣れた地域において生涯を通じて必要な歯科保健医療サービスを利用しながら、健康の維持増進ができるよう支援する環境づくりを行うことを基本方針とし、食べる楽しみがいつまでもつづく生活の実現を目指します。							
指標	計画策定時	現状値	目標値				
乳幼児・学齢期のむし歯のない者の割合							
ア むし歯のない3歳児の割合	77.8%	82.9%	90.0%以上 (目標値を更新)				
イ 12歳児のむし歯数(1人平均むし歯数)	1.8本	1.5本	1.0本以下				
口腔機能維持・向上 (再掲)60歳代における咀嚼良好者の割合	83.4%	【参考値】 66.8%*	80.0%以上 (目標値を更新)				
歯の喪失防止 60歳で24本以上の自分の歯を有する者の割合(55~64歳)	42.1%	48.0%	60.0%以上 (目標値を更新)				
過去1年間に歯科健診を受診した者の割合 (20歳以上)	22.0%	28.3%	40.0%以上 (目標値を更新)				
主 な 取 組		◎主体、○連携、協働					
		保健所	市町	教育	医療	職域	団体
1 歯・口腔の健康づくりや8020運動及び歯・口腔の健康と全身の健康との関連について普及啓発		◎	◎	○	○	○	◎
2 歯・口腔の健康づくりが適切に推進されるよう、歯科保健に関わる情報の収集・分析と情報の発信		◎	○	○	○	○	◎
3 生涯を通じた歯・口腔の健康づくりのため、かかりつけ歯科医を持ち定期的な歯科健診を受ける重要性についての普及啓発と実践		◎	◎	◎	◎	◎	◎
4 乳歯のむし歯予防のため、定期歯科健診、保健指導、フッ化物利用(フッ化物塗布、フッ化物配合歯磨剤等)等の推進と実践		◎	◎	◎	○	○	◎
5 永久歯のむし歯予防のため、フッ化物洗口実施施設の拡大とフッ化物洗口が継続して実施できる体制整備への支援		◎	◎	◎			○
6 成人が歯科健診や保健指導を利用できる機会を確保するため、「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」を活用した取組の普及		◎	○		○	○	◎
7 歯周病及び歯の喪失予防のため、市町や事業所における成人歯科保健対策の推進		○	◎		○	◎	○
8 介護予防事業における口腔機能向上の取組の促進及び口腔機能維持向上のための取組と実践		○	◎		○		○ ◎

*調査方法の変更による参考値

(2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

ア がん

目標							
○ がんの死亡率の減少を目指します。							
○ がん検診による早期発見・早期治療を進めます。							
指標	計画策定時	現状値			目標値		
75歳未満のがんの年齢調整死亡率(10万人当たり)	男性 120.4 女性 67.0	男性 108.5 女性 66.4			全国平均値以下 (H35) (目標値を更新)		
成人の喫煙率	24.8%	24.7% 男性 34.6% 女性 16.1%			12.0%以下		
がん検診の受診率(40歳以上)							
ア 胃がん検診	26.8%	35.0%			50.0%以上(H35) (目標値を更新)		
イ 肺がん検診	18.7%	36.4%					
ウ 大腸がん検診	21.5%	34.1%					
エ 子宮頸がん検診(20歳以上)	30.0%	33.3%					
オ 乳がん検診	28.0%	31.2%					
主 な 取 組		◎主体、○連携、協働					
		保健所	市町	教育	医療	職域	団体
1 早期発見・早期治療の重要性等を含めた、がん検診受診に関する広報等普及啓発の実施		◎	◎	○	◎	◎	○
2 子宮頸がん検診及び乳がん検診に係る無料クーポン券の配付など、住民が検診を受けやすい環境の整備			◎		○	○	○
3 がん検診未受診者に対する受診勧奨及び再勧奨		○	◎			○	
4 「北海道版食事バランスガイド」等を用いての、適正な食生活を推進するための普及啓発と実践		◎	◎	◎	○	○	◎
5 「栄養成分表示の店(ヘルシーレストラン)」の登録推進による食の自己管理意識向上の促進		◎	○			○	○
6 「おいしい空気の施設推進事業」による、受動喫煙防止対策の推進と対策への協力		◎	○	○	○	○	○
7 禁煙治療を行う管内の医療機関の情報の整理と、必要に応じた情報提供の実施		◎			○		
8 特定健康診査、特定保健指導など、各種相談の機会を活用した禁煙指導、禁煙相談等の実施		◎	◎		○	○	
9 各種がん検診の受診							◎
10 COPDを含め、たばこの害についての認知と、家庭・職場・公共の場等における受動喫煙防止のための行動実践							◎
11 児童生徒等を対象とした、がん教育の実施		◎	○	◎	○		
12 地域のがん征圧イベント等を通じた、がん患者、家族等支援及びがんには負けない社会の構築や機運の醸成		◎	◎	○	○	○	○
13 科学的根拠に基づいたがん検診の実施及びがん検診の精度向上		○	◎		◎	○	○

イ 循環器疾患

目標							
<p>○ 循環器疾患の死亡者の減少を目指します。</p> <p>○ 循環器疾患を予防するため、危険因子となる高血圧の改善や脂質異常症を減らします。</p> <p>○ 特定健康診査及び特定保健指導による疾病の早期発見、早期治療を進めます。</p>							
指標	計画策定時	現状値		目標値			
脳血管疾患の年齢調整死亡率（10万人当たり） 急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（10万人当たり）	脳血管疾患 男性 47.1 女性 25.2 急性心筋梗塞 男性 21.5 女性 9.2	脳血管疾患 男性 34.7 女性 21.0 急性心筋梗塞 男性 14.5 女性 5.5		脳血管疾患 男性 32.0%以下 女性 20.1%以下 急性心筋梗塞 男性 13.5以下 女性 5.2以下 （目標値を更新）			
高血圧の改善（40～89歳）（収縮期血圧の平均値）	男性 138mmHg 女性 134mmHg	男性 136mmHg 女性 130mmHg		男性 134mmHg以下 女性 128mmHg以下 （女性目標値を更新）			
高血圧症有病者の割合（40～74歳） （収縮期 140mmHg以上または拡張期 90mmHg以上、降圧剤服薬者）	男性 47.0% 女性 37.7%	男性 58.6% 女性 42.1%		男性 40.0%以下 女性 30.5%以下			
正常高値血圧者の割合（40～74歳） （収縮期 130mmHg以上 140mmHg未満または拡張期 85mmHg以上 90mmHg未満の者で降圧剤服薬者を除く）	男性 23.4% 女性 21.4%	男性 22.8% 女性 18.3%		男性 16.4%以下 女性 14.2%以下			
脂質異常症の者の割合（40～79歳）							
ア 総コレステロール 240mg/dl以上の者の割合	男性 13.5% 女性 24.0%	男性 9.7% 女性 21.0%		男性 10.0%以下 女性 18.0%以下			
イ LDLコレステロール 160mg/dl以上の者の割合	男性 9.6% 女性 12.6%	男性 5.7% 女性 9.2%		男性 7.2%以下 女性 9.5%以下			
特定保健指導対象者の割合の減少率（40～74歳） （メタボリックシンドローム該当者及び予備群）	該当 14.6% 予備群 2.9% （H20数値）	該当 15.3% 予備群 12.1%		H20年度に比較し 25.0%減（H35）			
特定健康診査の実施率（40～74歳）	32.6%	39.3%		70.0%以上（H35） （目標値を更新）			
特定保健指導の実施率（40～74歳）	12.0%	13.5%		45.0%以上（H35）			
主 な 取 組		◎主体、○連携、協働					
		保健所	市町	教 育	医 療	職 域	団 体
1 特定健康診査受診率の向上のため、広報等による受診勧奨の実施		○	◎	○	◎	◎	○
2 特定健康診査、特定保健指導など、各種相談の機会を活用した生活習慣の改善、禁煙、適正飲酒、適切な運動等に関する保健指導及び相談対応		○	◎		○	○	○
3 地域職域推進協議会を活用した循環器疾患予防の普及啓発		○	◎			◎	○
4 治療中断者への適切な受診勧奨、受診状況の把握			◎		◎	◎	
5 「北海道版食事バランスガイド」等を用いての、適正な食生活を推進するための普及啓発と実践		◎	◎	◎	○	○	◎ ◎
6 「栄養成分表示の店（ヘルシーレストラン）」の登録推進による食の自己管理意識向上の促進		◎	○			○	○
7 「おいしい空気の施設推進事業」による、受動喫煙防止対策の推進と対策への協力		◎	○	○	○	○	○
8 禁煙治療を行う管内の医療機関の情報の整理と、必要に応じた情報提供		◎			○		
9 特定保健指導等で受けた保健指導内容の実践			○		○		◎

ウ 糖尿病

目標							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣の改善の重要性について普及啓発を進め、糖尿病が強く疑われる者の増加抑制を目指します。 ○ 特定健康診査及び特定保健指導による早期発見、早期治療を進めます。 ○ 重症化予防のため、「治療継続による血糖値の適正な管理」の重要性についての意識を高めます。 							
指標	計画策定時	現状値	目標値				
糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	830人	688人	660人以下 (目標値を更新)				
糖尿病治療継続者の割合(20歳以上)	59.6%	59.8%	64.0%以上				
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合(HbA1cが8.4%以上の者)(40~74歳)	1.09%	0.92%	0.8%以下 (目標値を更新)				
糖尿病が強く疑われる者の割合 HbA1cがNGSP値6.5%以上または現在治療中の者(40~74歳)	男性14.8% 女性7.1%	男性12.9% 女性8.4%	男性19.7%以下 女性9.0%以下 (増加率を半減)				
特定保健指導対象者の割合の減少率 (メタボリックシンドローム該当者及び予備群)(40~74歳)	該当者14.6% 予備群12.9% (H20数値)	該当者15.3% 予備群12.1%	H20年度に比較し 25.0%減(H35)				
特定健康診査の実施率(40~74歳)	32.6%	39.3%	70.0%以上(H35) (目標値を更新)				
特定保健指導の実施率(40~74歳)	12.0%	13.5%	45.0%以上(H35)				
主 な 取 組		◎主体、○連携、協働					
		保健所	市町	教育	医療	職域	団体
1 栄養や運動等に関する生活習慣の改善に係る普及啓発と実践		◎	◎	○	○	○	◎
2 「北海道版食事バランスガイド」等を用いての、適正な食生活を推進するための普及啓発と実践		◎	◎	◎	○	○	◎
3 「栄養成分表示の店(ヘルシーレストラン)」の登録推進による食の自己管理意識向上の促進		◎	○			○	○
4 特定健康診査及び特定保健指導等における、発症予防・重症化予防に係る保健指導の実施		○	◎		○	◎	○
5 糖尿病が疑われる者や治療中断者への適切な受診勧奨、受診状況の把握			◎		◎	◎	
6 保健指導従事者を対象とした糖尿病に関する保健指導技術向上に資する研修会の実施		◎	○		○		○
7 定期健康診査(治療に係る受診も含む)の適切な受診							◎

エ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

目標												
○ COPDという疾患の道民の認知を高めます。												
指標	計画策定時	現状値			目標値							
COPDの認知度	なし	25.4%			80.0%以上							
(再掲) 成人の喫煙率	24.8%	24.7% 男性 34.6% 女性 16.1%			12.0%以下							
主 な 取 組						◎主体、○連携、協働						
						保健所	市町	教育	医療	職域	団体	住民
1 ホームページやメディアの活用、公共施設におけるパネル展示、関連リーフレットの配布、がん検診や特定保健指導におけるCOPDに関する普及啓発						◎	◎					
2 「おいしい空気の施設推進事業」による、受動喫煙防止対策の推進と対策への協力						◎	○	○	○	○	○	○
3 特定健康診査、特定保健指導など、各種相談の機会を活用してのがん予防や禁煙指導、禁煙相談の実施						◎	◎		○	○		
4 禁煙治療を行う管内の医療機関の情報の整理と、必要に応じた情報提供の実施						◎			○			
5 COPDを含め、たばこの害についての認知と、家庭・職場・公共の場等における受動喫煙防止のための行動実践												◎
6 飲食店等に対する受動喫煙防止対策の強化						◎	○	○	○	○	○	

(3) 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
ア こころの健康

目標							
○ 精神保健相談などを通じ、ストレス要因の軽減や対応を適切に行い、こころの健康の保持・増進を図ります。							
指標	計画策定時	現状値			目標値		
自殺者数（人口10万人当たり）	25.4	17.5 (H28)			12.1以下 (H39) (目標値を更新)		
気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合（20歳以上）	8.2%	9.8%			7.4%以下		
メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合	100人以上 91.2%	【参考値】*1 50人以上 80.7%			100% (H32)		
小児科医・精神科医・心療内科医数の割合（小児人口10万人当たり）	201.1	3科合計 221.7			増加		
主 な 取 組		◎主体、○連携、協働					
		保健所	市町	教育	医療	職域	団体
1 こころの健康に関する相談窓口のさらなる充実		◎	◎	○	○	○	○
2 メンタルヘルスに関する普及啓発		◎	◎	○	○	○	○
3 自殺予防に関する普及啓発		◎	◎	○	○	○	○
4 市町におけるメンタルヘルス対策の推進		◎	◎	○	○	○	○
5 保健・医療・福祉関係者や教職員等、様々な分野におけるゲートキーパー*2の育成		○	◎	◎	○	○	○
6 職域におけるメンタルヘルス対策の推進		○	○	○	○	◎	○

*1 労働安全衛生法の改正により当面50人以上の事業所にストレスチェックの実施の義務づけられたことによる人数変更

*2 ゲートキーパー：自殺のリスクの高い人の早期発見・早期対応を図るため、自殺のサインに気づき、話を聞き、必要に応じて専門家につなぎ、見守る役割を担う人材

イ 次世代の健康

目標												
○ 適正な食習慣や運動習慣を有する子どもの割合を増やします。												
○ 妊娠前・妊娠期における適正体重の維持や喫煙、飲酒習慣の改善を進めます。												
指標	計画策定値	現状値			目標値							
健康な生活習慣（栄養・食生活、運動）を有する子どもの割合												
ア 朝食を摂取する児童の割合（小学6年生）	85.9%	84.9%			すべての児童が朝食を食べることをめざす							
イ 「体育の授業以外で1週間に運動・スポーツの総運動時間が60分以上」と答えた児童の割合	男子 88.9% 女子 78.9%	【参考値】* 男子 93.1% 女子 88.5%			100%							
適正体重の子どもの割合 全出生数中の低出生体重児の割合	9.8%	9.2%			減少							
妊婦の喫煙率	10.1%	6.3%			0%							
産婦の喫煙率	13.2%	8.4%			0%							
妊婦の飲酒率	4.7%	1.4%			0%							
主 な 取 組						◎主体、○連携、協働						
						保健所	市町	教育	医療	職域	団体	住民
1 早寝早起き朝ごはん運動の普及等による、乳幼児・学齢・思春期における食育の推進と実践						◎	◎	◎			○	◎
2 親子や地域住民が運動に親しむ機会の提供と活用							◎	◎			○	◎
3 乳幼児健診等における、子どもの健康の維持増進に係る保健指導の実施							◎		○			
4 母子健康手帳交付時等における、妊産・授乳婦の喫煙、飲酒に関する状況の把握と適切な指導の実施						○	◎		○			
5 妊婦健診等における、適正体重維持に関する保健指導の実施						○	◎		◎	○		
6 女性の健康サポートセンターにおける相談対応の実施						◎						
7 「北海道版食事バランスガイド」等を用いての、適正な食生活を推進するための普及啓発と実践（特に思春期、若年女性）。						◎	◎	◎	○	○	◎	◎
8 妊婦健診や乳幼児健診等で受けた保健指導内容の実践							○		○			◎

*調査変更による参考値

ウ 高齢者の健康

目標												
○ 高齢者の健康づくりを進めます。												
指標	計画策定時	現状値			目標値							
適正体重を維持している者												
65歳以上の肥満の割合	男性 38.1% 女性 37.3%	男性 38.4% 女性 32.5%	減少 (目標値を追加)									
65歳以上のやせの割合	— —	男性 10.8% 女性 14.9%										
65歳以上の日常生活における歩数	男性 5,968 歩 女性 4,799 歩	男性 5,395 歩 女性 4,915 歩	男性 7,000 歩以上 女性 6,000 歩以上									
口腔機能の維持・向上 60歳代における咀嚼良好者の割合	83.4%	【参考値】 66.8%*	80%以上 (目標値を更新)									
主 な 取 組						◎主体、○連携、協働						
						保健所	市町	教育	医療	職域	団体	住民
1 高齢者への就業やボランティア活動、生涯学習、文化・スポーツ活動への参加促進と積極的参加						○	◎	◎			○	◎
2 高齢者を対象とした健康づくりや介護予防事業における、栄養や運動に関する普及啓発と実践						○	◎		○		○	◎
3 生活活動（日常動作や労働による身体活動）の工夫による身体活動量の増加に関する情報提供						◎	◎		○		○	
4 歯・口腔の健康づくりや8020運動及び歯・口腔の健康と全身の健康との関連についての普及啓発						◎	◎	◎	◎	○	◎	
5 介護予防事業における口腔機能向上の取組の促進及び口腔機能維持向上のための取組と実践						◎	◎		○		◎	◎
6 ロコモティブシンδροームの普及啓発						◎	◎		○		◎	◎

* 調査方法の変更による参考値

(4) 健康を支え、守るための社会環境の整備

目標							
○ 「北海道健康づくり協働宣言」団体の登録の増加を図ります。							
指標	計画策定時	現状値	目標値				
健康づくりに関する普及啓発や相談など道民の健康づくりを支える「北海道健康づくり協働宣言」団体の登録数	45 団体	56 団体	増加				
主 な 取 組	◎主体、○連携、協働						
	保 健 所	市 町	教 育	医 療	職 域	団 体	住 民
1 「北海道健康づくり協働宣言団体」の普及啓発と、当該団体の当圏域支部等との連携	◎	○	○	○	○	○	
2 健康マイレージ導入に向けた支援	◎	○				○	
3 従業員の健康保持・増進に取り組む企業等の情報収集・発信	◎	○				○	